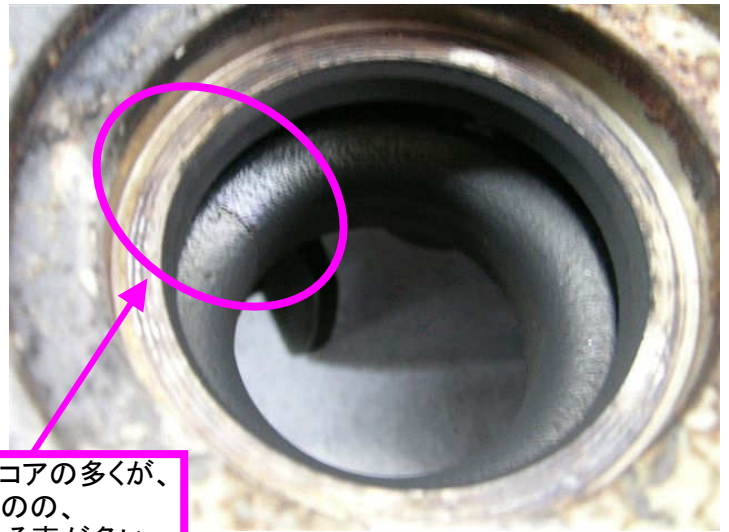


よくある症例

- ①排気ガス漏れ
 - ②回転数が上がると異音(笛吹き音)
 - ③ターボのエキゾースト側にクラック
- 以上の例は、同じ原因から起こるトラブルです。

【原因】

- ・元々、車両のセッティングが燃調薄めになっている為、エアクリナーの詰りや、ブローバイガスの増加、エンジンコンディションの悪化などにより、さらに燃調が薄くなってしまいます。
- ・燃調が薄くなると、排気温度が異常に上昇する為、金属が過熱し膨張します。
- ・金属の膨張を繰り返す事で、エキマニやターボのエキゾーストハウジングにクラックが入ります。



当社に返却されるコアの多くが、
大小の差はあるものの、
クラックが入っている事が多い。

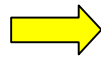
【トラブル解消法】

- ①排気ガス漏れ
- ②回転数が上がると異音(笛吹き音)



排気漏れ箇所の特定と修理

- ③ターボのエキゾースト側にクラック



上記写真程度の小さいクラックであれば
まだターボは使えます。

クラックが大きい場合や、排気漏れしている場合は
タービンの交換が必要です。

いずれのケースも車両側の燃調を正常化しないと、いずれ再発します。

(車の使用頻度にもよりますが、半年以上は持ってしまいます。)

燃調関連をすべて整備すると、かなりの高額(40万前後)となってしまいます。

現実的に、完全に整備することは不可能なので、

吸気周り(エアクリナー清掃など)、ブローバイ関連(ブローバイホース清掃、タペットカバー洗浄など)を一通り整備して頂くだけで、トラブルの発生がかなり抑えられます。